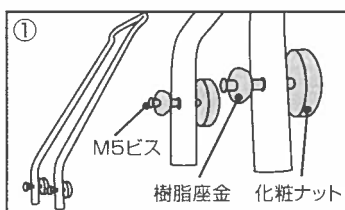


押し棒をご使用の前に 必ずお読みください

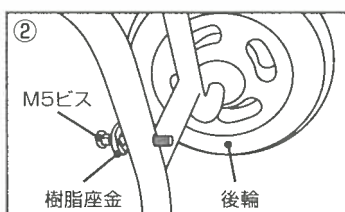
お買い上げいただいた三輪車は、押し棒付です。
押し棒をご使用になる前に「三輪車のしおり」と本書をお読みの上、
大切に保管してください。

押し棒の組み立て方

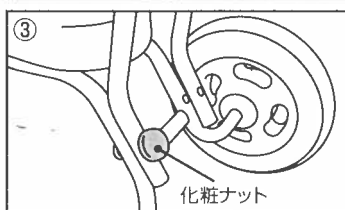
- ①押し棒についている化粧ナットをゆるめて、
M5ビスと樹脂座金をはずしてください。



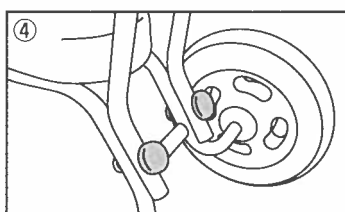
- ②右図のようにフレームCOMPの裏側から
樹脂座金にM5ビスを通し、フレーム
COMPの四角穴とビスの根元の四角を
合わせてビスを奥まで差し込んでください。



- ③通したビスに押し棒の穴を合わせビスを
押し棒に通してから化粧ナットで仮締めを
してください。



- ④続いて同じようにもう一方のネジも取り
付けてください。
最後に2ヶ所の化粧ナットを締め付けて
ください。

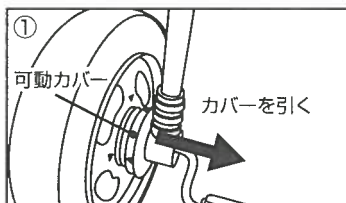


完成

※押し棒を使用しなくなり押し棒をはずした
時には、「三輪車のしおり」に同封の樹脂
ピンでフレームの穴をふさいでください。

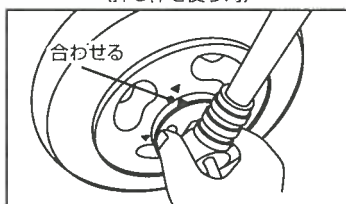
お子様を乗せ押し棒を押す時

- ①お子様を乗せる前に前輪左足側の可動カバーを外側に引いてください。
一杯に引きましたらペダルを回しても空回りして前輪がペダルと一緒に回らないことを確認してください。



〈押し棒を使う時〉

- ※お子様がご自身でこぐ時は前輪の▲印と可動カバーの▲印を合わせて可動カバーを押し込んでください。



〈自分でこぐ時〉

- ②お子様が自由にハンドルを切れないようにハンドルを正面に向けハンドル固定ピンをハンドル中央部の穴に差し込んで、ハンドルが左右に大きく切れないことを確認してください。



〈押し棒を使う時〉

- ※お子様がご自身でこぐ時はハンドル固定ピンを左側の穴に差し込んでください。



〈自分でこぐ時〉

以上の準備ができましたらお子様をお乗せになり押し棒を使用してください。

押し棒使用時の注意

- ①可動カバーを必ず引いてお子様の足は両足ともにペダルに乗せてください。
つま先が地面に擦れると危険です。
- ②押し棒を使用する際は必ず保護者が操作を行い、幼児の足が巻き込まれないように注意すること。
- ③押し棒は自走できない幼児のための補助具であり、幼児の足が地面及びペダルに確実につき自分でこげるようになつたらはずすこと。
- ④幼児がサドルに立ち上がらないよう注意すること。
サドルに立ち上がって押し棒に寄りかかると三輪車ごと転倒する危険があります。
- ⑤三輪車・押し棒は用途以外には使用しないこと。